

Green Spirits



レス障害という言葉が広く一般に知れわたるようになったのは、一九九五年の阪神・淡路大震災後

さわやかな陽光が降り注ぎ、木々の若葉も萌えさかっ、春本番の季節が巡ってきました。文京生の皆様においては、ご入学・ご進級おめでとございます。どんなときにも確実に季節は巡ってくるのだということ、を、ちぢこまる気持ちの中で今年ほど実感したことはありません。親族を亡くし、住む家が流され、街がゴーストタウンになっても、春は巡り、木々は芽吹き、新しい命とエネルギーが生み出されていく。私たちは、呆然と立ち尽くすだけでなく、次のステップに向けてその第一歩を踏み出さなくてはならないと思います。

も確実に季節は巡ってくるのだということ、を、ちぢこまる気持ちの中で今年ほど実感したことはありません。親族を亡くし、住む家が流され、街がゴーストタウンになっても、春は巡り、木々は芽吹き、新しい命とエネルギーが生み出されていく。私たちは、呆然と立ち尽くすだけでなく、次のステップに向けてその第一歩を踏み出さなくてはならないと思います。

きない子どもに多く起こりやすいと言われています。

阪神・淡路大震災の時にも、多くの臨床心理士が避難所・学校に向き、活動を続けてきました。今回の震災でも、先日の新聞報道によれば、千三百人の臨床心理士やスクールソーシャルワーカーを派遣するといわれています。

本学には、人間学部のなかでこれらの人々の養成に携わる心理学や人間福祉学があります。相手の気持ちに寄り添うというのは、簡単なよう

でいてなかなか難しいもの

です。人間、どうしても

自分の枠組みから出る

ことは難しく、その枠組

みからもを言いがちで

す。先の資格を持つとい

なくても、相手を理解し

ようという気持ちがあれば、それに近づくことは

可能です。皆さんの若い

力をこれからの活動に生か

していただきたいと思います。

若い力を復興の源に 伊藤 裕子 人間学部心理学科 学科長

きつと何年か後には街は再興し、人々の暮らしに笑顔と活気が戻ってくることでしよう。でも、津波と震災を直接経験し、特に親しい人を失った人にとって、十一年春の暗い記憶はいつまでも心の中に留まり続けると思います。

PTSD (心的外傷後スト

す。